

ちよだ生物多样性大賞

平成30年度 募集案内

～ 6月から募集がはじまります ～

募集期間

平成30年6月1日～平成30年10月1日

対象

区内で生物多样性の保全等に関する活動をしている個人、団体、事業者等
※自薦、他薦を問いません。

応募

以下の方法で応募できます。区ホームページから応募用紙をダウンロードしてください。

【応募方法】①メール ②郵送 ③持参(環境政策課)

選考ポイント

実効性や発展性・波及性等の視点から、個人、団体、事業者等の特性に合わせて評価します。

表彰者発表

平成30年11月(予定)

表彰式

平成30年11月(予定)

※応募書類と写真は返却いたしません。
※受賞者の活動はホームページ等で公表します。

表彰の対象となる活動例

1 生物多样性の保全に関する活動

- ▶ アダプトシステムへの参加
- ▶ 在来種による緑地づくり
- ▶ ツバメの巣の見守り など



アダプトシステム



屋上緑化



羽を休めるスズメ

2 生きもののネットワークづくりに関する活動

- ▶ 鳥が休める場所づくり
- ▶ 生きものがすみやすい緑地づくり
- ▶ ちいさな空き地を活かした都心の緑化 など

3 普及・啓発に関する活動

- ▶ 生きものさがし観察会の開催
- ▶ セミ羽化観察会の開催
- ▶ 親しみやすい樹名板の設置 など



生きものさがし観察会



セミ羽化観察会

4 その他、特徴ある活動

- ▶ 活動団体を財政・技術面で支援
- ▶ 歴史と地域性をふまえた森づくり
- ▶ 生きもの調査・生きもの情報の蓄積や発信 など



ちよだ・つま恋の森づくり

応募/問合せ先

千代田区環境まちづくり部環境政策課 電話:03-5211-4255 FAX:03-3264-8956
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 Eメール:kankyouseisaku@city.chiyoda.lg.jp

生物多样性活動事例集

～ ちよだ生物多样性大賞受賞者の活動 ～



もっと
知って欲しい!!
ちよだの
さまざまな
生きものたち

目次

- P1～2 生物多样性って何だろう?
- P3～8 ちよだ生物多样性大賞紹介～受賞者のさまざまな活動～
- P9～10 千代田区におけるその他の取組み

平成29年度
千代田区

生物多様性 とは？

地球上に存在するあらゆる生きものは、互いに生存を助け合いながら複雑に関わり合い、自然の中でそれぞれの役割を持って、一定のバランスで持続する生態系を創りあげています。このようなさまざまな生きものの豊かな個性とつながりを「生物多様性」といいます。

生物多様性3つのレベル



1 生態系の多様性
それぞれの地域では、森や草地、池などの多様なタイプの生態系が存在します。

2 種の多様性
一つ一つの生態系には、さまざまな個性を持った多くの種が存在します。

3 遺伝子の多様性
同じ種でも色形や性質などに違いがあり、多様なタイプの遺伝子が存在します。

生態系サービス

私たちの暮らしは、生態系から持続的に生み出されるさまざまな自然の恵み（酸素や水・光や温度）に支えられて成り立っています。このような自然の恵みは、生態系から私たちの暮らしに提供されるサービスであるという考えから、「生態系サービス」と呼ばれています。

いのちの 存続基盤

酸素や水の供給、
気候の安定など



暮らしを守る (安全・安心)

洪水や土砂崩れ、自然災害の
防止、減少など



生活の 基盤

食料、衣服、木材、
石材、医薬品など



豊かな 文化の根源

風習、レクリエーションや
観光、四季の行事など



いま、生物多様性が 危ない！！

現在、地球上では野生生物の乱獲や生息地の破壊、地球温暖化、人が持ち込んだ外来生物などの影響によって、生物の減少や絶滅がこれまでになく急速に進んでいます。

このように生物多様性が失われ続けると、生態系のバランスが大きく崩れ、暮らしを支える自然の恵みを持続的に得ることができる仕組みが壊れてしまいます。

危機 1 野生生物の乱獲や 生息地の破壊

開発行為による生きものの生息・生育環境の悪化や、鑑賞、商業利用を目的とした乱獲によって、生きものの数が減少しています。

危機 2 生態系の質の低下

人の手によってバランスが保たれていた里山の森林や農地が、生活様式の変化によって管理されず荒廃してしまい、生きものの生息・生育環境が悪化しています。

危機 3 地球環境の 変化による影響

地球温暖化などの影響による気象の変化で、環境が変化し、生物の減少や絶滅が急速に進み、生態系が単純になっています。

危機 4 外来種による 生態系のかく乱

自然状態では生息・生育していなかった地域に、人間のさまざまな活動で持ち込まれ定着した外来生物によって、地域固有の生態系のバランスが崩れてきています。

なぜ千代田区で？～取り組む意義～



現状 官公庁、大企業などが集中し、国内外の環境に大きな影響を与えています。

生物多様性を含めた環境と共生できる
経済社会にする必要があります！



現状 皇居には、豊かな自然と生態系が存在します。一方、その他の区内の自然は少なく孤立しています。

皇居の豊かな自然環境を周囲へ広げる
取り組みは、千代田区だからできることです！

千代田区では、区内で行われている生物多様性の保全に係わる活動を広く知ってもらうために、「ちよだ生物多様性大賞」を始めました。

ちよだ



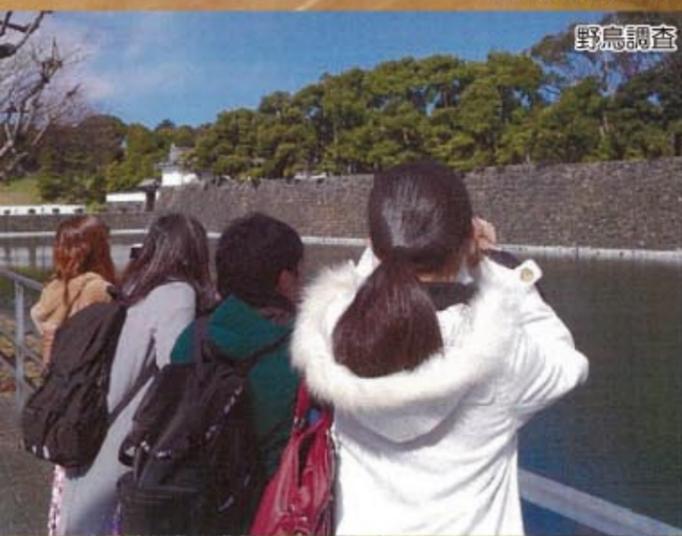
2017 最優秀賞

最優秀賞

法政大学 人間環境学部 高田ゼミ 千代田区の緑・水辺・生物の魅力発掘と発信

ECOM パネル展

野鳥調査



緑地調査



駿河台探鳥会



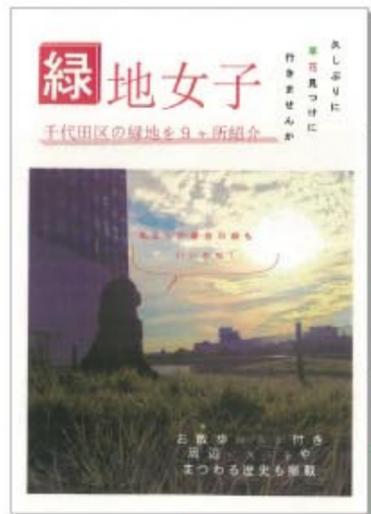
受賞者の一言

校内は緑が少ないですが、千代田区には身近に緑があることをさまざまな媒体を通じて広めたかったです。受賞できた活動は学生たちの創意工夫の結果です。受賞が学生の活動の励みになっています。

評価のポイント

若者ならではのわかりやすい観点から調査、分析、情報発信を行っているため、区民にとっても親しみやすい内容になっています。この活動は、大学のゼミの授業としても確立しており、継続性がうかがえ、今後の発展が期待されます。冊子の構成やデザイン、SNSによる情報発信など、若者の視点が活かされており、素晴らしい活動内容です。

- **活動目的** 自然の魅力を引き起こし、区民に都市の自然への新鮮なまなざしを提案する。
- **活動場所** 千代田区を中心とした地域（緑地・水辺など）
- **規模** 教員 1 名、学生 155 名（各 1～3 年間、2017 年度は 70 名）
- **開始時期** 2013 年 4 月から
- **活動内容** 都市の生物多様性に関わる「生物」「緑地」「水辺」「暮らしと文化」「周囲との関わり」の 5 つの視点から、千代田区の自然が持つ魅力を発掘し、学生の感性で調査・分析を行いました。多くの区民の皆さんにその魅力を発信するため、ユニークな発想で編集した冊子の配布、SNSでの情報発信、あるいは探鳥会の開催やシンポジウムへの参加など、さまざまな普及活動を積極的に展開しています。



冊子で
魅力発信



Instagram



野鳥識別技能を高めるためのトレーニング用アプリを Google Drive 上に作成

SNSを利用した
情報発信



Twitterを使用

入賞

川村善次さん

北の丸公園の植物観察記録



カクタ手の果実

- 活動目的 北の丸公園の植物を生態系の視点から長期にわたって観察・記録し、変遷を辿っていく。
- 活動場所 北の丸公園
- 規模 個人
- 開始時期 1994年2月から
- 活動内容 退職後23年にわたり、週に1~2回、北の丸公園の植物を生態系の視点から観察し続けています。これまで撮影した写真を整理しながら、景観や樹木、野草、植物群落の遷移などの視点でまとめました。写真は植物の仕組みがわかるように撮影しています。北の丸公園の生態系の豊かさを伝えられるよう、これからも記録を続けていきたいと思っています。

受賞者のひと言

23年間、北の丸公園を歩きまわり撮った写真が評価されました。区の賞は2つ目の受賞ですが、受賞は何歳になってうれしいです。

以前東御苑の写真展をやったので、今度は北の丸公園の写真展をしたいと思っています。

評価のポイント

長期間にわたって、地道な活動を継続した成果として、貴重な植物の情報が蓄積されており、個人の活動としては非常に優れています。

写真撮影のレベルも高く、あたかも「北の丸の植物図鑑」と言っても過言ではない力作がそろっています。今後は、この成果を広く公開し、北の丸の生態系の豊かさを広く伝えてほしいと思います。



アリアケスミレ



チリーアヤメ

受賞者のひと言

お濠周辺で活動している昆虫少年でした。子どもと一緒に昆虫さがしに行ったことをきっかけに、20年前から活動を再開しました。

調べた情報が区内の生物多様性の維持に貢献できるように、今後も活動していきたいと思っています。

評価のポイント

活動の継続年数が長く、区内のチョウの貴重な情報となっています。時間をかけてシャッターチャンスを狙って撮影した写真も多く、個人の活動として非常に優れています。千代田区内の豊富な生物多様性を広く皆さんにも知ってほしいという思いから今回応募されたとのこと。チョウやトンボに関する専門性の高い貴重な情報ですので、今後は幅広い情報発信を期待します。



オナガアゲハ 千鳥ヶ淵公園半蔵門付近で撮影



ミヤマカラスアゲハ 代官町通り沿いの土手の上で撮影

入賞

安達優二郎さん

皇居周辺のアゲハ等の多様性に関する観察記録



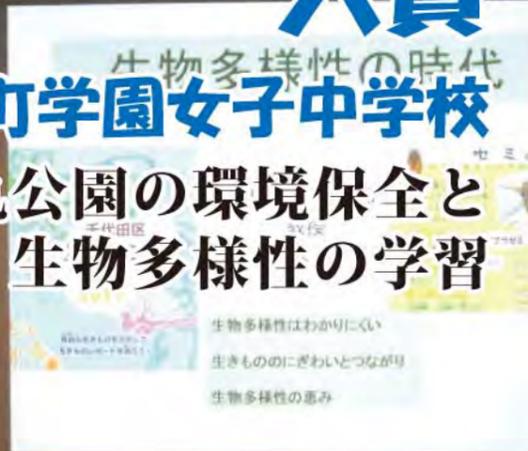
ミヤマカラスアゲハ 戦没者墓苑で撮影

- 活動目的 自然環境に恵まれた皇居周辺の豊かな生きもの達について関心を持ってもらい、また環境意識の向上につなげる。
- 活動場所 皇居周辺・お濠端
- 規模 個人
- 開始時期 2009年から
- 活動内容 幼少の頃より昆虫少年でしたが、2009年に戦没者墓苑において、ミヤマカラスアゲハ、モンキアゲハ、ナガサキアゲハなどを立て続けに目撃したのを機に、現在まで毎週末、チョウやトンボの観察を続けています。動画と静止画で記録を残し、観察日、場所、変遷、種の特徴などをまとめています。少年時代のアゲハやトンボ類についても、テキストデータとして記録しています。

入賞

麴町学園女子中学校

北の丸公園の環境保全と生物多様性の学習



明治大学倉本教授による講演

●活動目的 学園近隣の自然や景観に関心をもち、環境保全のための活動に参画する態度を養う。

●活動場所 麴町学園および北の丸公園

●規模 2016年度中学1年生および2017年度中学1年生（計127名）

●開始時期 2016年5月から

●活動内容 2016・2017年度の中学1年生を対象に、「みらいセミナー」の授業で、環境保全や生物多様性をテーマにした学習を行いました。

明治大学教授を招いた講演や、夏休みを利用した北の丸公園でのフィールドワークを通じて学んだ内容を学園祭で発表しました。また、その学習成果物を区の環境作品展にも出展し、広く学外にも発信しました。

受賞者のひと言

子どもたちがたくましく生きる力を持って欲しいと思い、日頃から野外での体験が重要と考えていました。自宅から学校まで一度も土を踏まない生徒たちに麴町の自然を知ってもらいたかった。

最優秀賞を貰うまで活動していきたいです。

評価のポイント

生物多様性の視点が授業の一環として組み込まれており、体験学習が繰り返されています。北の丸の自然の中で、生徒たちが意欲的に学習している様子が見えます。学校における生物多様性に関する取り組みとして、先進的な事例です。

広く学内外に発信しているようなので、こうした学習活動が他校にも波及していくとよいと思います。



学園祭



フィールドワーク

受賞者のひと言

活動を初めて3年、以前区内で生きもの調査を行った経験があり、都市公園にも生きものが見られることを見直す活動を行っています。今後も継続して観察会を行っていきたいと思います。参加者から、受賞の祝いの便りが多く届いています。

評価のポイント

これまでの活動実績が豊富で、活動の内容も多岐にわたっています。活動の回数や各回の参加人数も多く、イベントとして確立されています。未就学児とその保護者を対象にした自然観察会など、自然を通じた子育て支援の取り組みは、貴重なものと言えるでしょう。今後は、活動の成果を広く発信してほしいと思います。



読み聞かせ



リースづくり

入賞

ドリフター

千代田区における身近な自然に親しむ活動



生きものさがしの様子

●活動目的 身近な自然に親しみ・学び・考え・行動するきっかけづくりのため、また子どもたちの自然環境への興味・関心を深めるための活動。

●活動場所 千代田区内

●規模 各回親子20～50名

●開始時期 2015年3月から

●活動内容 環境団体、音楽家、画家、作家などと協力しつつ、自然観察会やワークショップ等を通年で開催し、自然保護・環境保全の普及啓発活動を行っています。子どもの頃から身近な自然に親んでもらえるよう、千代田区の自然や生物多様性をテーマにした体験学習の場を広く提供するとともに、SNS等を活用し区内の生きものや環境に関する情報を独自の視点で発信しています。

●千代田区生きものさがし

「千代田区生きものさがし」は、区内の身近な自然にふれ、さまざまな生きものを知ること、自然や生きものへの関心を高めることを目的として、毎年6月～10月に行っています。

また、毎年実施することで、区内に生息する生きものの現状や変化を確認していきます。



●「ちよだ・つま恋の森づくり」植樹ツアー

千代田区と姉妹都市である群馬県嬭恋村で自然散策やミズナラの苗木を植える体験ができるツアーです。

昨年度のツアー参加者の満足度は100%!!

普段なかなか味わうことのできない体験を、全員で楽しみました。

●セミ羽化観察会

7月・8月の夜に、日比谷公園でセミの羽化の観察会と室内での勉強会を行っています。

セミの羽化の瞬間は、とても神秘的でした。



●区内一斉打ち水

千代田区では、8月を「打ち水月間」と定めており、区民の方や区内の企業の方たちが打ち水を実施しています。

誰でも気軽に楽しくできる打ち水で、爽やかな涼しさを感じてください。



●千代田区で見つけたさまざまな生きもの

●生きものさがし観察会

7月・8月に、北の丸公園で、生きものさがし観察会と室内での勉強会を行いました。たくさんの生きものを見つけ、子どもたちは大興奮でした。



北の丸公園にて
いろいろな
虫たちが
見つかりました

